

6. 第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、本町における人口等の現状やアンケート結果等をふまえ、以下の3つの基本目標と6つの基本的方向を設定します。

基本目標

基本目標1. 若者や子育て世代に選ばれるまちになる

基本目標2. 人を引き寄せ、地域経済を活性化させる

基本目標3. 次世代を育て、持続可能なまちをつくる

基本的方向

- I. 若い世代や子育て世代の目線で武豊町の魅力や住みやすさをアピールするとともに、まちへの愛着心を育み、転入促進と転出抑制を図る
- II. ワーク・ライフ・バランスの実現や、働きながらでも子育てがしやすい社会に向けた取組を推進することで「子育てしやすいまち」としての魅力向上を目指す
- III. 企業・事業所の働き方改革や女性の活躍推進への理解を深めるとともに、人材不足の解消や雇用の安定を図る
- IV. 武豊町の伝統産業や特色ある地域資源を活用し、磨きをかけることで、武豊町への人の流れをつくる
- V. 環境への理解を深めるとともに、将来のまちづくりを担う人材を育成し、カーボンニュートラルへの対応や多様な主体との連携等により地域の課題解決を図り、持続可能なまちづくりをめざす
- VI. 高齢化の進展を見据え、誰もが元気に生きがいを持ち、主体的に活動できる生涯活躍のまちを目指す

内容追記

6. 第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期武豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、本町における人口等の現状やアンケート結果等をふまえ、以下の3つの基本目標と6つの基本的方向を設定します。

基本目標

基本目標1. 若者や子育て世代に選ばれるまちになる

基本目標2. 人を引き寄せ、地域経済を活性化させる

基本目標3. 次世代を育て、持続可能なまちをつくる

基本的方向

- I. 若い世代や子育て世代の目線で武豊町の魅力や住みやすさをアピールするとともに、まちへの愛着心を育み、転入促進と転出抑制を図る
- II. ワーク・ライフ・バランスの実現や、働きながらでも子育てがしやすい社会に向けた取組を推進することで「子育てしやすいまち」としての魅力向上を目指す
- III. 企業・事業所の働き方改革や女性の活躍推進への理解を深めるとともに、人材不足の解消や雇用の安定を図る
- IV. 武豊町の伝統産業や特色ある地域資源を活用し、磨きをかけることで、武豊町への人の流れをつくる
- V. まちづくりに関心がある人を発掘・活用しつつ、多様な主体との連携等により地域の課題解決を図り、持続可能なまちづくりをめざす
- VI. 高齢化の進展を見据え、誰もが元気に生きがいを持ち、主体的に活動できる生涯活躍のまちを目指す

改定後

追加

指標、基準、目標値は武豊町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）より抜粋。
上記計画は2030年が目標年次であり、415千tは2030年の目標値。中間目標がないため、「近づける」とした。

基本目標 3. 次世代を育て、持続可能なまちをつくる

《数値目標》

指標名	基準	目標
今後のまちづくりには町民参加・協働が必要と思う人の割合 (町民意識調査)	80.4% 平成 30 (2018) 年	82.0%
地域活動に参加したい (これからも参加したい) と答えた人の割合 (町民意識調査)	44.6% 平成 30 (2018) 年	50.0%
自分が活躍できる場があると 答えた人の割合 (町民意識調査)	51.9% 平成 30 (2018) 年	55.0%
温室効果ガス排出量 (武豊町地球温暖化対策実行計画 (区域施策編))	705 千 t-CO ₂ 平成 29 (2017) 年	415 千 t-CO ₂ に 近づける

《施策の体系》

施策 3-1 まちづくりへの参加促進ときっかけ・場づくり

- ① 将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成
- ② 多様な主体と連携したまちづくりの推進
- ③ 健康で楽しく暮らせ、生涯活躍できるまちづくりの推進

施策 3-2 カーボンニュートラルを目指したまちづくり

- ① 環境への理解を深め、脱炭素を意識したまちづくりの推進

《施策により推進される SDGs》



改定前

基本目標 3. 次世代を育て、持続可能なまちをつくる

《数値目標》

指標名	基準	目標
今後のまちづくりには町民参加・協働が必要と思う人の割合 (町民意識調査)	80.4% 平成 30 (2018) 年	82.0%
地域活動に参加したい (これからも参加したい) と答えた人の割合 (町民意識調査)	44.6% 平成 30 (2018) 年	50.0%
自分が活躍できる場があると 答えた人の割合 (町民意識調査)	51.9% 平成 30 (2018) 年	55.0%

《施策の体系》

施策 3-1 まちづくりへの参加促進ときっかけ・場づくり

- ① 将来のまちづくりを担う人材の発掘と育成
- ② 多様な主体と連携したまちづくりの推進
- ③ 健康で楽しく暮らせ、生涯活躍できるまちづくりの推進

《施策により推進される SDGs》



改定後（追加内容）

施策 3-2-①

環境への理解を深め、脱炭素を意識したまちづくりの推進

◎環境に関する学習やイベント等の実施により環境への理解を深めるとともに、再生可能エネルギーへの転換や緑化等への意識を高め、脱炭素型のまちづくりを推進します。

※2018 年の値

《重要業績評価指標（KPI）》	基準値	目標値
コミュニティバスの利用者数	61,617 人/年※	72,000 人/年
1 人あたりの家庭系ごみ（資源除く）の排出量	533g/日※	440g/日
アンケート（町民意識調査）にて、「省エネルギーやリサイクルに心がけている」と答えた人の割合	83.8%※	90.0%

《具体的な事業・取組》

- ・ 公共施設等の省エネ化及び太陽光発電施設の設置推進（環境課・関係課）
- ・ ごみ減量や資源循環の推進（環境課・関係課）
- ・ 環境学習等の実施による、脱炭素への意識醸成（環境課・関係課）
- ・ CO₂ 排出量を抑えた移動手段及びまちづくりの推進（関係課）

内容は武豊町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を参考とした。

選定理由：公共交通機関の利用促進により、温室効果ガス排出量の削減が期待できるため

項目：第 6 次武豊町総合計画の成果指標

※武豊町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の中でも採用

基準値：第 6 次武豊町総合計画の現状値（2018 年）より抜粋

目標値：第 6 次武豊町総合計画の中間目標（2025 年）より抜粋

選定理由：可燃ごみ排出量の削減により、燃焼による温室効果ガス排出量の削減が期待できるため

項目：第 6 次武豊町総合計画の成果指標

※武豊町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の中でも採用

基準値：第 6 次武豊町総合計画の現状値（2018 年）より抜粋

目標値：第 6 次武豊町総合計画の中間目標（2025 年）より抜粋

選定理由：町民の意識向上がカーボンニュートラルの推進に大きく影響するため

（※個別計画では使用されていない項目。）

基準値：本計画における他の町民意識調査とあわせ、2018 年度の値を採用。

目標値：2015 年調査で約 92%だったが、低下傾向にある。2015 年と同程度の水準まで引き上げること为目标とする。